

石巻市LINE公式アカウントをリニューアルしました!

石巻市LINE公式アカウントでは、ごみ出しや、公共交通、税金、防災、子育て、イベントなどの知りたい情報を手軽に調べることや、自分が選んだ情報を受け取ることができるようになりました。 関 秘書広報課 (内線4023)

石巻市LINE公式アカウントでできること

①あなたが欲しい行政情報を受け取ることができます! 子育て 芸術・文化・スポーツ 福祉・健康 観光
 ※緊急情報(防災・防犯など)や広く周知したい内容については、受信設定に関係なく、友だち登録した全員に配信します。

②欲しい情報にメニューからアクセスできます!

新着情報や子育て、イベント、防災など、各メニューをタップすることで市ホームページなどに素早くアクセスすることができます。

今後、住民票の交付申請手続きや、道路・公園施設などの損傷個所の通報ができる機能を追加していく予定です。



利用方法

- ①LINEのアプリをインストール
- ②友だち検索で「@isbousai2019」で検索またはQRコードから友だち追加してください。



◀インストール方法は、「LINE みんなの使い方ガイド」をご覧ください。



◀インストール済みの方はこちらから「友だち追加」

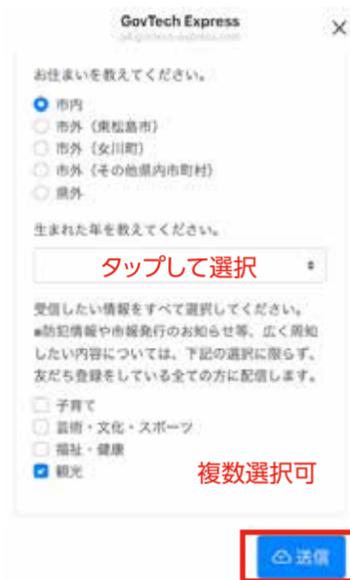
受信設定方法

※受信設定はトップメニューからいつでも変更できます。

①「受信設定」をタップ



②欲しい情報を選択し、「送信」をタップ



③「防災の受信設定」をタップし、URLをひらく



④利用規約を確認し、「同意する」をタップ



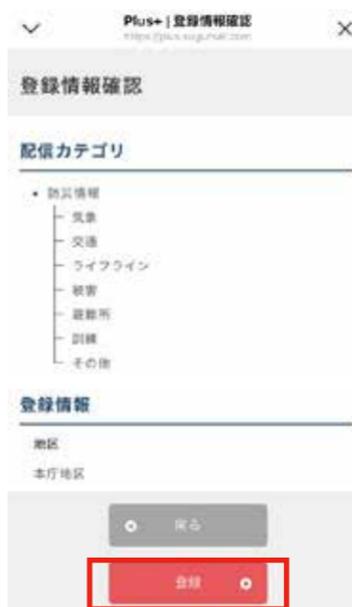
⑤全ての配信カテゴリを選択する



⑥自分が住んでいる地区を選択し、「確認画面へ」をタップ



⑦登録情報を確認し、「登録」をタップ



その他の情報発信

市のさまざまな取り組みや施策などを市民の皆さんに分かりやすく、新鮮な情報を発信する手段としてTwitterとFacebookを活用していますので、LINEと併せて利用ください。



SNS一覧はこちら



桃生町檜崎に住む首藤信乃さんは市内の男性の最高年齢です。近年は視覚と聴力に衰えが出ているそうですが、一日三食をもりもりと食べ、自立して歩いたり、一人で着替えができるほど元気です。長寿の秘訣について「た

だぼんやりと暮らしているだけです。若い時、いっぱい歩いたから、体は丈夫なのかも」と語っていました。首藤さんは大正5年8月25日、檜崎で8人兄弟の三男として出生しました。幼い頃から元気いっぱい、い



首藤信乃さん

(桃生地区)

106歳

三食欠かさず一人で着替え
毎日のお茶飲みが楽しみ

みんなのた場

わゆる、やんちゃ坊主だったそうです。小学校卒業後、14歳の時に河北町飯野川の呉服店に就職。その後、昭和18年、26歳の時に妻のきよ子さんと結婚しました。その翌年、第二次世界大戦で出征を余儀なくされましたが、終戦後の昭和21年にインドシナから無事帰還しました。

戦争の出来事はほとんど語らない首藤さんが、「今でも忘れられない」と振り返るのは、戦地から古里に戻った日のこと。きよ子さんの実家に足を運ぶと、そこには長女のかつ子さん(当時2歳)が無邪気に泥遊びをする光景があり、その姿を通して平和の尊さを痛感したといえます。

首藤さんは昭和23年に県土木事務所に入庁して31年間勤めました。62歳で退職して以降は、自宅で農業にいきしみつつ、地元神社の氏子総代長も歴任。穏やかで物静かな性格もあり、多くの人が親しまれました。

最愛の妻、きよ子さんは平成5年に死別しましたが、4人の子とも8人の孫、9人のひ孫に恵まれました。現在は長男夫婦と穏やかに暮らしています。

家でのんびりお茶飲みをするのが毎日の楽しみ。肉も魚も好物だそうです。基本的に好き嫌いはなく何でも食べるそうです。今年107歳を迎える首藤さんは、「これからもお茶飲みを楽しんで、元気に過ごしていきたいです」と話していました。



選管だより vol.1

マイナンバーカードを使って不在者投票の申請ができるようになりました！！

選挙期間中に仕事や学業などにより市外に滞在している方は、滞在先で不在者投票を行うことができます。

不在者投票の投票用紙の請求は、これまで書面による請求のみでしたが、マイナンバーカードを利用したサービスを活用することで、パソコンやスマートフォンからの請求が可能になりました。

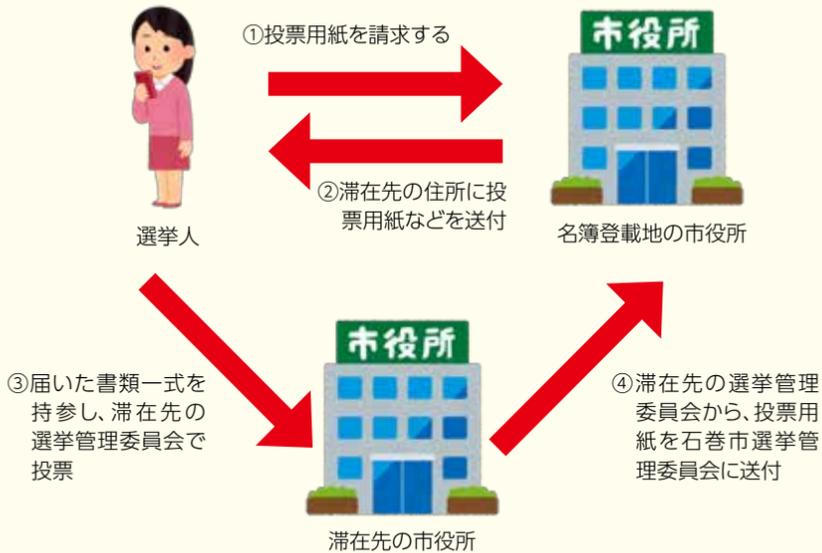
請求を行う場合には、署名用電子証明を有しているマイナンバーカードが必要です。ご注意ください。

※詳しくはホームページを確認してください。

※インターネットで投票ができる手続きではありません。



■手続きのながれ



☎ 選挙管理委員会事務局(内線5824)



石巻市立桜坂高等学校

桜坂だより

第37号

こんにちは、桜坂高等学校です。地区総体をはじめ、各大会で全校生徒一丸となって運動部を応援できるよう、応援団の指導のもと「全校応援練習」を行っています。今回は、その様子をご紹介します。



近年はコロナウイルス流行の影響もあり、学年ごとやモニターを見ての練習となっていました。今年度は、全校生徒そろっての応援練習が再開されました。



応援団の親切で丁寧な指導により、1年生もすぐに手拍子や掛け声をマスターしていましたが…。上級生の迫力？ある応援の様子には圧倒されていたようでした。



壮行式では、全校生徒が息の合った応援を繰り広げ、さっそく練習の成果が発揮されていました。

石巻 被災の南浜で供花

佳子さま石巻初訪問



秋篠宮ご夫妻の次女、佳子さまが5月23日、東日本大震災の犠牲者追悼と教訓を伝承するために整備された石巻南浜津波復興祈念公園を訪れ、祈りの場に供花されました。翌日に仙台市であった全国都市緑化祭の式典出席のための宮城県入りで、石巻市の訪問は初めてです。齋藤市長や村井知事が同席し、震災遺構門脇小学校も視察されました。



河北 民謡や民舞楽しむ2時間半

震災から4回目の集い

「民謡や民舞を楽しむ集い」が5月17日、二子東絆会館で開かれました。日本民謡協会に所属する京都京寿会(京都府)と北上やよい会(岩手県)から11人が出演し、福岡県の「黒田節」や岩手県の「馬方節」などの民謡、さらには日本舞踊の「祇園小唄」、懐メロの「青い山脈」といった25曲を披露しました。震災後に始まった集いで、今回は4回目です。集まった約60人の住民らは口ずさみ、約2時間半の交流の機会を大切にしました。



雄勝 県道石巻雄勝線が開通

硯上山に登ろう!

「硯上山に登ろう!わくわくトレッキング」が5月27日に開催され、総勢11人が参加しました。長らく工事中だった県道石巻雄勝線が今年3月に開通となり、硯上山ハイキングコース登山口から山頂まで登れるようになりました。天候にも恵まれ、木々の新緑や山野草を楽しみながら、片道約50分をかけて頂上に到着。参加者は、さわやかな汗をかいた充足感とともに頂上から一望できる雄勝のまちの眺めに、感嘆の声を上げていました。



河南 思いやりの絆で交通安全

かなん絆作戦

「かなん絆作戦」と題した交通安全の街頭啓発活動が5月12日、広瀨地区で行われました。前日から10日間の春の交通安全運動に合わせた行事で、河南総合支所や石巻警察署、石巻地区交通安全協会河南支部から40人が参加しました。事故のない地域を目指す参加者は、国道108号沿いにのぼりや横断幕を掲げて立ち、ドライバーに譲り合いの心を持った運転を訴えました。



桃生 コロナ禍抜け待望の歌声

東北地区カラオケ大会

「東北地区カラオケ大会&舞踊歌謡チャリティーショー」が5月28日に桃生公民館で開催されました。眞藤カラオケ教室を主宰する眞藤はる香さんが手がけた初の大規模イベント。東北地区からの一般参加者約60人とプロの歌手らがステージで自慢の歌声や踊りを披露し、終日盛り上がりを見せていました。



北上 多目的広場に桜植樹

園児もお手伝い

5月26日に北上地区多目的広場で、ソメイヨシノの苗木10本が植えられました。森を作ることで豊かな海を育む取り組みの一環で、石巻東ロータリークラブと石巻地区森林組合により実施されました。当日は、近くの北上こども園から3歳児クラスの5人も手伝いに駆けつけてくれました。桜は見晴らしの良い高台にあり、将来は離れた堤防からも眺められそうです。



牡鹿 クジラ解説ツアー

ツアーを通じて知識深める

5月3日から7日に、おしかホエールランドでクジラ解説ツアーが開催されました。おしかホエールランドの担当者がクジラの生態や鮫川の捕鯨文化などについて解説しながら館内を案内していました。マッコウクジラの骨格標本や実際に使用されていた捕鯨鉞、包丁などを観覧し、捕鯨の町で受け継がれてきたクジラと人の関わりを知ることが出来たようです。

